

7. 各学科の方針

(1) 現代教養学科

① 養成する人材像

人間として自ら豊かに生きると共にグローバルな時代に他者と共に生き、支え合う社会を形成していくための《人間力》と共に汎用的能力を身に付けて地域社会に貢献できる人材を養成する。

② 教育課程の編成方針

本学科では、次のような方針で教育課程（カリキュラム）を編成している。

- 1) 大学教育の基礎となるスキルを身につける初年次教育
- 2) 広い視野と人生を豊かにする教養を身につける一般教養教育
- 3) 状況に応じたコミュニケーション能力、情報収集力、情報発信力を培う教育
- 4) 円滑な人間関係を構築し、協調・協働を志向する態度を涵養する教育
- 5) 社会、人間、文化などの諸課題について自ら考える力を養う教育
- 6) 現代の社会生活で必須となる、ことばの力と ICT 活用力を高める専門教育
- 7) 地域文化を再認識し、継続的に地域資源の活用に目を向ける姿勢を育む教育

専門教育での学修の方針

現代教養学科では、時代の要請に応える社会的教養と、職業又は實際生活に必要な能力としての「人間力」を養成するという教育方針に基づきカリキュラム（教育課程）を編成している。現代の社会状況についての理解を深めつつ将来の進路選択に向けた自覚を促す「総合科目」、職業生活において必須となる日本語能力、外国語の知識、IT 活用力、ビジネスマナーや経営・経済に関する基本理解を得させる「基盤科目」、それぞれの目標に対応できるよう設定された各コースの「専門科目」、そして、これらの学修成果の集大成としての卒業研究を配置している。

③ 学位授与の方針

本学科の学位授与の方針は次の通りである。

所定の単位を取得した次の学生に、短期大学士（教養）の学位を授与する。

- 1) 現代社会の諸相や人間、文化に対する深い見方ができ、課題に適切に対応することができる。
- 2) 将来の進路を切り開く知と力を身につけ、社会に貢献することができる。
- 3) 社会の一員として、多様な人々と共に生きるためのコミュニケーション能力と協働の姿勢を修得している。
- 4) 地域の現状と将来に目を向け、地域社会の発展に寄与する意欲をもつ。